

第10回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の運営についてのご意見】

運営についてのご意見等	回答
<p>・10回に及ぶ議論の中で指摘された、自然現象の異変、災害等が発生した場合役人の言いなりのまま、ダム推進に重大な役割を果たした、横山町長、穂積新城市長、山脇豊川市長、稲葉蒲郡市長、佐原豊橋市長、鈴木田原市長ら各首長の責任は重くこれら責任者名を被害を受けるであろう後世の人達のために記録し責任の所在を明確にして後世に残すは運営委員皆様の最後の仕事であると考えますが、各委員の皆様の覚悟、考え方を聞きたいと存じます。御苦労様でした。</p>	<p>—</p>
<p>・主催者が土地水資源課であったことが一番問題だった。他部局でやるべきだった。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<p>・当初目標としていた「県民の理解を深める」について、評価はどうだろうか？この種の催しは主催者の思いが伝わらないことが多い。総括結果をHPへ公開してほしい（今回は最後となるようなので）</p>	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<p>・今まで取り上げられたテーマをまとめて本にして関係者に情報提供することが重要では？ いい内容の話が多かったが、十分に伝わっているのか判らない。もっと多くの人にこのセミナーの内容を知ってもらうために本やホームページ、等を使ってシタラダムの事を知ってもらう事が大事だと思う。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<p>・今回は最後になるとのことだが、記録の整理と冊子等にして残すとともに、講座を継続して欲しい。このような運営と講座は画期的なものであると思う。委員の方々に感謝です。 ・様々な問題があるので提言もできる形にして継続して頂きたいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<p>1. 下流域の実体発表。 2. 下流域の将来、人口減、農林の縮小のなかで、水が必要か。 3. 利水のうち下流域の水代は高いので工水の需要は減少すると思うがダムとの関連性は</p>	<p>—</p>
<p>・県の主催するセミナーなので、中立的な立場だと思います。なので、若い世代の、生きた学びの場として、また、自分達の将来を考える参画の源ともなる貴重な講座だと思います。なのに若者や学生の姿があまり見られません。場所が大学なのに！積極的に大学生を参加させるべきと考えます。（愛大生だけでなく） ・ジビエの直販はうれしい企画でした。もっと流通したらいいと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>

第10回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご意見（両講師、その他、不明）】

内容についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>水没者の移転が進んでいる設楽ダムの現状から、今回のセミナーも現状とかけ離れた次限で討論されており、住民の苦しみを議論する場になれば良かったと思います。</li> </ul>	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>消費税をあげない、借金を増やさない別の道を検討すべきなのに、それをしてない発言に怒りを覚えました。</li> <li>日本の税制の実際は累進課税となっていない、巨大企業ほど実質的に払う税率が少なくなっている、専守防衛をはるかに越えた自衛隊費、ムダな公共事業（設楽ダムも入ります）が再び復活しようとしている、等々を検討せずに、消費税率20%などを当然視するのは問題です。</li> </ul>	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体調ではあるが、満足に聞けなくて残念。</li> </ul>	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の選択、ディスカッションのコーディネートのあり方はとてもよかったです。</li> <li>自分自身で考えなければならない宿題を出されたような内容でした。</li> <li>この連続公開講座の今後は？どう、まとめるのか？何が成果か？</li> </ul>	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ああ我故郷の川よ 縄文人が生活の水を求めたであろう清らかな川よ 東山道を歩いた人々も越えた水源の山々よ 信州を通り貴重な岩石を求めて戦さになり出された人々の歩いたけわしい道と川よ 塩を求め山の幸を求め歩いた人々の通った道よ そのすべての歴史の道をダムという構造物で沈めてしまう現在を生きる利便性を求める私達 歴史の中に生きていたすべての人々よ！川を汚さず川を大切に生きた人々に、せめて、寒狭川、豊川を守ってと祈るのみである</li> </ul>	<p>—</p>

第10回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（小峰講師）】

内容についてのご意見等	回答
<p>・少子高齢化は将来大きな問題があると思っていましたがシルバー民主主義という言葉をはじめて聞きました。具体的な問題の大きさがよくわかってきました。ほんとうに、子、孫の時代が心配になります。今の政治をする人にもう少し大きい目でものを見てもらいたいです。</p>	—
<p>・人口減少の現実を踏まえた政策転換の必要があるムダなダム建設は後世に大きな負の遺産となると思った。経済学者の民主主義の発想は興深かった。</p>	—